

## 児童館における体験教室・学習支援事業

### 取組に至る背景・事業の目的

親世代の失業・就労困難から子どもの学習意欲が奪われ、学習の格差が生まれ、子どもたちの自立を難しくしている状況にある。

そこで、すべての子どもたちに体験・学習する喜びと場を提供し、児童の自立を目指すとともに、地域の人材活用により地域活性化及び地域全体での子育てにつなげる。

### 事業内容

#### ○学習支援

児童館内、児童クラブ内で、自ら学びたいと思う子どもの居場所となるよう、外部講師による寄り添い型宿題支援を実施。

#### ○子ども食堂

地域の協力が整った地区で、学習支援に加え、子ども食堂を実施。食事を一緒に作ることで、一緒に食べることで、一緒に片づけることを通して、孤食を防ぐことや自立のサポートをした。

#### ○体験教室

外部講師とともに年間計画を立て、貧困、保護者の多忙などによる子どもの体験不足を補った。卓球教室、サッカー教室、木育等に加え、子どもたちのエコショップ、防災マップ作りで地域を知る活動を実施。



【 学習支援 】



【体験教室 木育】

### 事業効果

#### ○学習教室 H28年度 307回開催 7,431名参加

集中力がついた、不登校の改善、学力の向上、楽しみな時間が持てた等の報告があった。生きづらさを抱えている子どもや生活保護世帯からの参加もあり、生活困窮者支援につながっている。相談しやすい信頼関係が構築され、3年間の継続により学習面からの居場所の定着が見られている。

#### ○体験教室 H28年度 132回開催 1,326名参加

木育授業では、椅子作りから山に興味を持ち、地域の芥子坊主山の整備事業に参加し、想像以上の力を発揮した。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・各児童館で必要とされている事業の継続と、新たな課題を解決するための自主事業に今後も積極的に取り組む。
- ・3年間この事業を継続して得られたノウハウを、利用者と地域を結びつけるコーディネーターとしての役割に生かしていく。
- ・学習支援と食育の繋がりのように当初は予想もしなかったことが、ここ2、3年で大きくクローズアップされてきている。常にアンテナを張り、子どもたちから見える地域の課題を拾い上げていく。

#### 【選定のポイント】

学習教室や体験教室を通して、子どもたちに自信と居場所があることの安心感を持たせることができた。更に、地域の教員OB等の大人がボランティアとして関わり、地域全体での子育て支援に寄与した。また、参加者も多く、安定した事業実施ができており、自立運営の見通しが立っている。

|         |                               |       |            |
|---------|-------------------------------|-------|------------|
| 団体名     | 特定非営利活動法人<br>ワーカーズコープ（松本市）    | 事業タイプ | ソフト事業      |
| 連絡先     | 松本営業所長 伊藤 由紀子<br>0263-39-7444 | 事業費   | 1,021,575円 |
| メールアドレス | nagano.jm@roukyou.gr.jp       | 支援金額  | 817,000円   |